

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。



沖縄計測が市へ寄付金贈呈

12月28日(金)、株式会社沖縄計測(玉城幸人代表取締役)の皆さんが市役所を訪れ、10万円を寄付しました。この寄付金は、市の教育や文化に関する事業へ使われます。玉城代表取締役は「子どもたちの将来のために役立ててください」と挨拶しました。株式会社沖縄計測は、これまでも市へ3回寄付した事があり、今回で4回目となります。



みんなが使う広場だから

1月19日(土)、昨年の9月末より閉鎖されていた「ゲート4エリア(市民広場)」が、1月8日に開放されたことを受け、市老人連合会や市少年野球連盟など約200名の市民が参加し、ボランティア清掃を行いました。これは同広場の野球場などの市民貸出しを再開するため行われたもので、朝から始めた清掃は正午には終了し、広場は



見違えるほどきれいになりました。清掃に参加した子ども達は「みんなが使う広場だから、きれいになってよかった」と汗まみれの笑顔で話しました。

浦添宜野湾電気工事業協同組合がチャリティーの一部を寄付

1月9日(水)、浦添宜野湾電気工事業協同組合の山城克己理事長らが市役所を訪れ、市の福祉事業に役立てていただきたいと、チャリティーゴルフコンペで集



まった15万円を寄付しました。80社加盟の同組合で歳末助け合い事業の一環として実施しており、今年で7回目となります。この寄付金は、市の福祉事業に役立てられます。

料理することの楽しみ、この日を待ちわびて

11月16日、30日の両日、保健相談センターにおいて「男性料理教室中級編」が開催されました。この教室は市食生活改善推進員による男性料理教室を受講された方のスキルアップを目的に開催されたもので、「メタボ予防」をテーマに、さけの南蛮漬けや焼ききのこの和え物、など旬の野菜を使って調理実習が行われました。参加者の中には、前回受講後に「家族に作るとおいしいと言われた」という方や「亡きご婦人のために毎日



味噌汁を作ってあげられた。とても喜ばれた。最近孫と作ってるよ」というお話もあり、推進員が励まされ心温まる教室となりました。



サンフティーマ周年祭が開催

1月20日(日)、ティ・エム・オ普天間(与那嶺務代表取締役社長)が管理・運営しているサンフティーマで今年も「サンフティーマ周年祭」を同店駐車場で開催しました。会場ではバルーンアートや、ベリーダンスなどのイベントのほか、4自治会の協力でもちつき大会も行われました。

子ども達は、力いっぱいおもちをつき、できたてのおもちをきなこやあんこで食べるなど、初めてのもちつきを楽しんでいました。

